

2019 年度秋田大学医学部医学科授業計画

分 類	基礎医学アドバンスコース	対象学年	2 年次 選択	時間割コード	71584001
授業科目名	公衆衛生学 - 文献検索 -				
開設学期等	第 29 週			単 位 数	1
主任教員	野村恭子 (教授、衛生学・公衆衛生学講座) 6086				
担当教員	野村恭子 (教授、衛生学・公衆衛生学講座) 6086 ロザリン (助教、衛生学・公衆衛生学講座) 6466 南園佐知子 (助教、衛生学・公衆衛生学講座) 6481				
授業の概要 及び 一般目標 (GIO)	PubMed を用いて医学情報を収集を及び必要なリサーチクエスチョンをたてる。(5W1H の応用、PICO/PECO の抽出、先行研究に残っている課題を見つけ出す力を身につく)				

授業計画・内容・到達目標 (SBO)						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標 (SBO) 等	担当教員	場所
1	12 月 2 日 (月)	1-2 時限	全体討議	テーマ：オリエンテーション 1) 自己紹介 1 分ずつ (名前・出身地・コースを選択した理由・公衆衛生学で特に興味を持つ分野・研究したい課題) 2) 公衆衛生学でどのような研究課題を行いたいのかを目標とゴールの設定	ロザリン 南園佐知子	総合研究棟 2 講義室
2	12 月 2 日 (月)	3-4 時限	講義	テーマ：医学情報のエビデンスの応用 (1) 研究は、医学・医療の発展や患者の利益を目的として行われることを説明出来る (5W1H の応用、PICO/PECO の違い)	ロザリン 南園佐知子	総合研究棟 2 講義室
3	12 月 2 日 (月)	5-6 時限	演習	テーマ：PubMed の使い方 検索エンジン PubMed を用いて医学情報を収集	ロザリン 南園佐知子	5BPC
4	12 月 2 日 (月)	7-8 時限	演習	テーマ：文献検索 課題を設定する 検索エンジン PubMed を用いて医学情報を収集 収集した情報を整理する	ロザリン 南園佐知子	5BPC
5	12 月 2 日 (月)	9-10 時限	全体討議	テーマ：個人発表 収集した医学情報を発表 1. 検索の手順 2. 文献の件数 3. 関心のある文献 4. その理由	ロザリン 南園佐知子	5BPC
6	12 月 3 日 (火)	1-4 時限	全体討議	テーマ：個人発表 関心のある文献発表 1. 研究の目的 2. 研究デザイン 3. PICO/PECO の抽出	ロザリン 南園佐知子	総合研究棟 2 講義室
7	12 月 3 日 (火)	5-6 時限	講義	テーマ：医学情報のエビデンスの応用 (2) 文献を読む 5W1H と PICO/PECO の理解を深める	ロザリン 南園佐知子	総合研究棟 2 講義室
8	12 月 3 日 (火)	7-8 時限	グループ 学習	テーマ：リサーチクエスチョンの作成 グループディスカッション 1. 課題を決める 2. 5W1H の設定	ロザリン 南園佐知子	総合研究棟 2 講義室
9	12 月 3 日 (火)	9-10 時限	全体討議	テーマ：グループ発表 (初回発表) 課題と 5W1H の設定を発表する	野村恭子 ロザリン 南園佐知子	総合研究棟 2 講義室

授業計画・内容・到達目標 (SBO)						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標 (SBO) 等	担当教員	場所
10	12月4日 (水)	1-4 時限	グループ 学習	テーマ：リサーチクエスションの作成 グループワーク 1. 文献検索、 2. 情報収集、 3. リサーチクエスションをたてる	ロザリン 南園佐知子	5BPC
11	12月4日 (水)	5-6 時限	グループ 学習	テーマ：リサーチクエスションの作成 グループディスカッション 1. 収集した情報を比較する 2. 文献整理 (文献数は人数分とする) 3. 文献に関する PICO/PECO 表を作成する	ロザリン 南園佐知子	総合研究棟 2 講義室
12	12月4日 (水)	7-10 時限	全体討議	テーマ：リサーチクエスションの作成 (中間発表) 文献発表 (文献数は人数分とする): 1. 研究の目的 2. 研究デザイン 3. 結果 4. 考察 (先行研究は研究課題に関する疑問を解けていたかどうか) グループの研究課題について (5W1H) を考え直す	野村恭子 ロザリン 南園佐知子	総合研究棟 2 講義室
13	12月5日 (木)	1-10 時限	グループ 学習	テーマ：リサーチクエスションの修正 グループワーク: 1. 文献を検索し直す 2. 文献整理 3. PICO/PECO 表を作成する 4. 考察 5. 今後の研究課題としての PICO/PECO を作成する 発表する文献 (文献数はグループ人数分とする) とそれぞれの PICO/PECO 表を 5 枚コピー (教員分) を準備する	ロザリン 南園佐知子	5BPC
14	12月6日 (金)	1-6 時限	全体討議	テーマ：グループ発表 (最終発表) 自己評価 ピア評価 教員評価	野村恭子 ロザリン 南園佐知子	総合研究棟 2 講義室
15	12月6日 (金)	7-10 時限	自主学習	テーマ：レポート提出	ロザリン 南園佐知子	総合研究棟 2 講義室

教科書・参考書	EBM の実践と教育 David L.Sackett [ほか] 著
成績評価の方法	積極性、態度、グループワーク、出席状況、レポート、発表を評価 1. シラバスをよく読んで、参加すること。 2. 全体討議の時に、積極的な参加、自分の考えを述べること。 3. 研究課題に関して、自ら学び、課題を見つけ、問題を解くなどの自主性を求められている。 4. グループワークやディスカッションを重視する。
その他・メッセージ等	PubMed を用いて文献検索や整理するため、英語の理解力が必要となる。 グループ学習の場所に関しては全て総合研究棟 2 講義室、チュートリアル室と 5BPC で行う。